



年に一度の七夕茶会！ ～ともしび保育園～



7月10日夏らしい晴天の中、ともしび保育園で「七夕茶会」がありました。ともしび保育園では茶道を積極的に取り入れており、心静かにお茶を楽しむ機会が定期的にあります♪今回は七夕茶会らしく、掛け物や短冊が彩りを添えていました☆



お茶会のはじまりはいつも引き締まった空気に。しっかりと一礼して、七夕茶会がはじまりました！



菓子器が回ってきたら、まずはご挨拶。その後、迷わずにさっと手で取って懐紙に乗せるのが干菓子をいただく際の基本のお作法です。みんなバッチリですね(^^)



七夕茶会の鮮やかなお菓子は、京都の老舗「甘春堂」さんの干菓子。静かにいただきます。



特別な茶会には園長先生を正客として迎え、一番はじめに一服していただきます☆



お抹茶は京都の老舗「一保堂茶舗」さんの上質なものをお願いしています。軽やかな風味が特徴です。

～お礼～



この度、福島ともしび苑では、競輪の補助を受け、新たにチェアインバスを導入することが出来ました。新しい設備が整い、利用者様にも大変喜ばれております。公益財団JKA様にはこの場をお借りしまして感謝申し上げます。

職員インタビューコーナー

福祉の世界に入ったきっかけ

高校卒業後の進路を決める時「人の役に立つ仕事がしたい」という想いがありました。その当時は一般企業に就職しました。成田空港内で、主に貨物を扱う業務に従事していましたが、半年ほどで伊丹空港に異動となり、約8年間勤めて退職しました。退職後は福祉職に就く為に介護福祉学科のある専門学校へ通って介護福祉士を取得し、介護保険制度がはじまった平成12年に従来型の特養に入職し、介護職員としてスタートを切りました。介護職員として5年間経験を積んで介護支援専門員資格を取得してからは居宅介護支援事業所へ異動となり、同法人で24年間勤めた後は介護支援事業所に転職しました。南西部地域包括支援センターには令和8年6月に入職し、日々励んでおります。

地域包括支援センターに入職して

南西部地域包括支援センターへ入職してまだ1カ月ですが、皆さんに快く受け入れていただき、とても働きやすい環境で少しずつ慣れてきました。地域包括支援センターは相談が多岐にわたりますので、より緊張感をもって注意深く相談内容を傾聴しております。7月に入ってから2人体制で窓口当番にも入っており、先輩職員の対応を吸収しながら経験を積んでいるところです。今はまず、たくさん相談対応をして業務を覚えていく事と、困難ケースの相談に関しては社会福祉士や保健師、主任ケアマネがそれぞれの専門性を活かしながら丁寧な支援ができるよう意識しております。

嬉しかったこと

介護職員として働いていた時、ケアの後に「ありがとう」とお言葉をいただいた時は嬉しかったですし、仕事をする上で今も自分のベースになっています。感謝の気持ちを直接伝えてくださる仕事に就いている実感と、自分が人の役に立っているという充実感が重なり、働く意欲に繋がっています！

大切にしていること

人生の大先輩である高齢の方に対して、敬う気持ちを大切に日々関わらせていただいております。介護の基本と同じですが、上から物を言うような事はせず目線を合わせて傾聴し、自分にできる支援を精一杯してお役に立ちたいと思っています。時には厳しいお言葉もありますが、溜め込まないように体を動かして気持ちをリセットする事も大切にしています。



南西部地域支援センター 主任介護支援専門員 西條 満さん

休日の過ごし方、ストレス対処

休日は体を休める時間に充てる事が多いですが、気持ちに余裕があればキッチンに立って調理をすることもあります。お酒が好きで毎日嗜んでいますが、甘いものも好きなので、最近ではパウンドケーキ作りを楽しみました。ストレス対処は、ジョギングです。平日仕事が終わった後と、土日合わせて週に3日、コースを決めて1時間ちょっと走っています！体を動かす事でスッキリしますので、ストレスを抱える事なく過ごすことができています。

未来の自分

介護職員からスタートして主任ケアマネとなり、職種は変わってもより良い生活を送っていただきたい気持ちは一貫して変わっておりません。定年まで10年と少しの年齢になり、「人の役に立つ仕事」に長年従事してきた集大成として、最後まで全力を出し切りたいと思っています。引き続き専門職と協力し合いながら日々励んで参ります。



4月には苦くて飲めなかったお友達も、今では綺麗にいただいています☆お抹茶が大好きになったお友達も居ますよ(*^^*)今年も素敵な七夕茶会になりました！